	通常評価事業	事後評価)					
事務事業名	外国語教育推過	<b>進事業</b>			事業開	開始年度 平	成26年度
担当課	教育委員会 🗄	学校教育課		担当者	飯	田俊彦	
■事業の執行計		n)】					
総合計画体系	政策 施策	03   文化薫る心豊   03   確かな学力と	:健やかな		)学校教育		
	基本事業	■01   確かな学力の					
事業の目的		:する外国人を活用する E語運用能力を向上さt		り、言葉と体	験をとおした	コミュニケー	-
事業の概要	小学校・中学校	たに英語指導助手を派遣	遣する。				
■事業実施結果	【実施(Do)】						
	年度	29年度			丰度		年度
事業費の推移	実績/当初予算	実績	実績		!績	当初	
	総事業費	26, 099		29,	625	31,	875
■前年度の事業		heck)					
	│指標	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
指標の推移	小学校に対						
	授業実施数	おける児童一人あたりの 数	時間	19	26	27	27
	授業実施数 中学校には 授業実施数	数 おける生徒一人あたりの 数	時間	21	26 26	27 26	27 26
	授業実施数 中学校にお	数 おける生徒一人あたりの 数		21			
達成度の 評価と説明	授業実施数 中学校には 授業実施数 評価 ●達	数 おける生徒一人あたりの 数	時間	21 <b></b>	26 <b></b> 重成できず		
達成度の 評価と説明	授業実施数 中学校には 授業実施数 評価 ●達 小学を 説明	数 おける生徒一人あたりの 数 成、概ね達成した ( 校・中学校に英語指導	時間 つ多少は達 助手を派遣	21 <u>፪成した 〇</u> 遺 遣し、授業を写	26 <b>奎成できず</b> 実施した。	26	
達成度の 評価と説明 見直し余地	授業実施数 中学校には 授業実施数 評価 ●達 小学校 説明	数 おける生徒一人あたりの 数 成、概ね達成した ( 校・中学校に英語指導	時間 つ多少は達 助手を派遣	21 <b></b>	26 <b>奎成できず</b> 実施した。		
達成度の 評価と説明 見直し余地	授業実施数 中学校には 授業実施数 評価 ●達 小学な 説明	数 おける生徒一人あたりの 数 成、概ね達成した ( 校・中学校に英語指導	時間 つ多少は達 助手を派遣	21 <b>達成した 〇</b> 流 <b>遣し、授業を</b> 変 <b>5るがまだ時</b>	26 <b>奎成できず</b> 実施した。	26	

事務事業調書(			(全)					
事務事業名	非常勤	」講師活用事業	Ę			事業開	開始年度 平	成26年度
担当課	教育委	員会 学校教	<b>対育課</b>		担当者	橋	本宜之	
■事業の執行計		画(Plan)】						
	政策	03	文化薫る心豊					
総合計画体系	施策	03	確かな学力と		心や体を育む	)学校教育		
	基本事		確かな学力の					
事業の目的	児童生	徒の習熟度の	向上及び学校生活	舌の充足。				
争未の日的	児童生	徒の自ら学ぶ	意欲の向上。					
事業の概要	市内小	中学校に市採	用非常勤講師を配	配置し、子	どもたちの豊	かな学校生活	のために、個	に
争未の似安	応じた	生活の支援を	行う。					
■事業実施結果	【実施	(Do) ]						
		年度	29年度			丰度		年度
事業費の推移	実統	責/当初予算	実績		美	!績	7/	i初
	i	総事業費	95, 368		108,	915	113, 289	
■前年度の事業	分析【	評価 (Check)						
	指標	+5+	票名称	単位	29年度	30年度	元年度	2年度
	区分	1日1	宗石 你	单位	実績	実績	計画	計画
指標の推移		非常勤講師配置	+六 *\h	校	8/8	8	8	
担保の推修		非 市 到 讲 叫 癿 但	<b>代义 女义</b>	松	0/0	O	O	
	評価	」●達成、	既ね達成した(	○多少は遺	成した 〇分	達成できず		
達成度の		市内小中	学校に市採用非常	'勤講師を酉	記置し、子ど:	もたちの豊かな	よ学校生活の#	こめに、個に
評価と説明	説明	応じた生活	舌の支援を行い、	児童生徒の	の習熟度の向よ	上及び学校生活	舌の充足に寄与	うした。 I
見直し余地	判定	〇数年内	に見直し可能(	○余地はあ	るがまだ時間	間が必要 ●	余地なし	
■将来方向性【	改善(	Action) ]	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
事業の方向性		[し継続 ●耳	見状どおり継続	〇廃止・	完了			
資源方向性			、●現状 〇縮小		業務量	○拡大	現状 〇縮小	١

事務事業調書(	通常評	<b>萨価事業 事</b> 後	()						
事務事業名	地域の	)獣医師との過	₫携を図った体験	<b>负活動推進</b>	事業	事業開	開始年度 平	<sup>2</sup> 成26年度	
担当課	教育委	長員会 学校教	<b>対育課</b>		担当者	田	代浩貴		
■事業の執行計		·画(Plan)】							
	政策	03	文化薫る心豊						
総合計画体系	施策	03			:心や体を育む	)学校教育			
	基本事		確かな学力の						
事業の目的	ふれあ	い教室を実施	することにより、	、児童の小	動物への関心	を高め、飼育	についてのI	Eι	
予未の口口		きを備えさせる							
事業の概要			児童の道徳性を改				のネットワー	-ク	
			動物について学	<u> 交が相談で</u>	きる体制をつ	くる。			
■事業実施結果	【実施	(Do)							
		年度	29年度			年度		年度	
事業費の推移	実統	漬/当初予算	実績			<b>経</b> 積		当初	
		総事業費	361		2	35		260	
■前年度の事業		[評価 (Check]							
	指標	- 培地	票名称	単位	29年度	30年度	元年度	2年度	
	区分	181	<b>ホ</b> つ りか		実績	実績	計画	計画	
指標の推移			加児童数 (2年生	人	444	420	444	444	
リロリホマノリエリタ		で実施)			777	720	777	777	
						<u> </u>			
	評価			○多少は遺		達成できず			
達成度の			<b>ጷ室を実施し、児</b>	豊童の小動物	勿への関心を₹	高め、飼育に1	ついての正し	い知識を備え	
評価と説明	説明	引  させるこ。	とができた。						
見直し余地	判定		に見直し可能(	〇余地はあ	るがまだ時間	間が必要 ●	余地なし		
		(Action) ]							
事業の方向性			見状どおり継続_	〇廃止・					
資源方向性	予算	算額   〇拡大	、●現状 ○縮小	١	業務量	<b>└ ○拡大</b>	●現状 〇縮/	']\	

事務事業調書(	通常評	· 価事業 事	後評価)					
事務事業名	小学核	:情報教育推	進事業			事業開	開始年度 平	成17年度
担当課	教育委	員会 学校	教育課		担当者	永	井聡行	
■事業の執行計								
	政策	0	3 文化薫る心豊	豊かな人材	の育成			
総合計画体系	施策	0			心や体を育む	)学校教育		
	基本事	業 0	1 確かな学力の	り育成				
事業の目的	児童の	情報活用能	力の育成、校務のⅠ	CT化による	る教職員の負担	旦軽減。		
事業の概要	小学校	小学校に係るICT機器の整備、運用管理						
■事業実施結果	【実施	(Do) ]						
		年度	29年度			年度		年度
事業費の推移	実絹	責/当初予算	実績		実績		当初	
		総事業費	74, 079		90,	224	94, 132	
■前年度の事業		評価(Chec	k) ]					
	指標	t		単位	29年度	30年度	元年度	2年度
	区分	1	日1末12 1小	辛匹	実績	実績	計画	計画
指標の推移	活動	教育用コンピ 童数	ュータ1台当たりの児	台	6. 3	6. 1	6. 1	3. 6
	活動	普通教室の無	線LAN整備率	%	53. 8	53. 8	53. 8	100. 0
	評価	□ ○達成、	概ね達成した(	●多少は遺	を成した O	達成できず		
達成度の		閣議決足	≧された第3期教育	<b>辰興基本計</b>	画で国の測定	!指標が定めら	れたため、指	旨標を変更。
評価と説明	説明	一部指標	標で全国の平均値を	上回ったが	<b>こめ</b> 。			
見直し余地	判定	2 ●数年[	内に見直し可能(	○余地はあ	「るがまだ時「	間が必要 〇	余地なし	
見直し余地 ■将来方向性【	判定 改善(		内に見直し可能(	○余地はあ	5るがまだ時[	間が必要 〇	余地なし	
	改善(	Action) ]	内に見直し可能 ( )現状どおり継続	〇余地はあ 〇廃止・		間が必要 〇	<u>余地なし</u> 	

事務事業調書(			<b>後評価</b> )					
事務事業名	中学校	情報教育推過	進事業			事業開	開始年度 平	成17年度
担当課	教育委	員会 学校教	<b>教育課</b>		担当者	永	井聡行	
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】				_		
	政策	03	文化薫る心豊	豊かな人材	の育成			
総合計画体系	施策	03	確かな学力と	ニ健やかな	心や体を育む	〕学校教育		
	基本事	業 01	確かな学力の	り育成				
事業の目的	生徒の	情報活用能力	の育成、校務のⅠ	CT化による	る教職員の負担	旦軽減。		
事業の概要		中学校に係るICT機器の整備、運用管理						
■事業実施結果	【実施	(Do)						
		年度	29年度			丰度		年度
事業費の推移	実績	責/当初予算	実績		実	!績	当初	
		総事業費	20, 613		29,	029	30,	. 087
■前年度の事業		評価(Check)						
	指標	指	標名称	単位	29年度	30年度	元年度	2年度
	区分			T   2	実績	実績	計画	計画
指標の推移		教育用コンピュ 徒数	ータ1台当たりの生	台	7. 9	4. 4	4. 4	2. 9
	活動	普通教室の無線	LAN整備率	%	62. 2	62. 2	62. 2	100
	評価	〇達成、	概ね達成した(	●多少は遺	i成した Oi	達成できず		·
達成度の		閣議決定	された第3期教育	振興基本計	画で国の測定	指標が定めら	れたため、指	旨標を変更。
評価と説明	説明	一部指標-	で全国の平均値を	上回ったか	<b>こめ</b> 。			
見直し余地	判定	●数年内	に見直し可能(	○余地はあ	るがまだ時間	間が必要 〇	余地なし	
■将来方向性【	改善(	Action) ]	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		•			
事業の方向性	●見直	し継続 〇耳	見状どおり継続	〇廃止・				
資源方向性	予算	「額 ●拡大	、〇現状 〇縮小		業務量	: ●拡大(	)現状 〇縮小	\ <u>\</u>

事務事業調書(			<b>後評価</b> )					
事務事業名	小中学	萨校総合学力記	周査事業				開始年度 平	成26年度
担当課	教育委	長員会 学校教	<b>教育課</b>		担当者	飯	田俊彦	
■事業の執行計	画【計	·画(Plan)】						
	政策	03	文化薫る心豊					
総合計画体系	施策	03			∵心や体を育む	)学校教育		
	基本事		確かな学力の					
事業の目的			習状況を客観的	こ把握し、	その結果を基	に指導法の改	善等に生かし	· <b>、</b>
ず未り口口			上を図りたい。					
事業の概要	•小:	国・算・学習	'意欲と生活様式の	の調査				
			意欲と生活様式の	の調査				
■事業実施結果	<u>【実施</u>	E(Do)】						
		年度	29年度					年度
事業費の推移		績/当初予算	実績			:績		当初
		総事業費	144		1	36	1	147
■前年度の事業		【評価(Check)						
	指標	指	標名称	単位	29年度	30年度	元年度	2年度
	区分	111	자입기가	<del>+</del> 12	実績	実績	計画	計画
指標の推移			し授業改善等に生	%	100	100	100	100
1日1次~21年19		かしている学校	の割合	/ 0	100	100	100	100
	評価			○多少は遺		達成できず		
達成度の		_	交で児童生徒の学		犬況を調査し、	教育施策及び	<b>ゾ学校・学級</b>	・教科指導の
評価と説明	説明	月  計画に生症	かすことができた	. 0				
見直し余地	判定		に見直し可能(	〇余地はあ	るがまだ時間	間が必要 ●	余地なし	
	711	(Action) ]	= 11: 13:1					
事業の方向性			見状どおり継続	〇廃止・				
資源方向性	予算	算額  〇拡大	、●現状 ○縮小	١	業務量	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	●現状 〇縮小	١

	通常評		(と)					
事務事業名	市立中	学校国際交流	<b>記事業</b>			事業開	開始年度 平	成17年度
担当課	教育委		<b>対育課</b>		担当者	<b>香</b>	本宜之	
■事業の執行計		画(Plan)】						
	政策	03	文化薫る心豊					
総合計画体系	施策	03	確かな学力と		心や体を育む	ひ学校教育		
	基本事		確かな学力の	り育成				
事業の目的		国際的視野の						
予未の口口			る経験を通じて、					
事業の概要			学校に在籍する				3)、アメリカ	派
			、現地学校との3	交流やホー	ムステイを行	なう。		
■事業実施結果	【実施							
		年度	29年度			年度		年度
事業費の推移		∮/当初予算	実績			積		当初
		総事業費	9, 854		5, 2	250	6,	300
■前年度の事業	分析【	評価(Check)						
					~~ -	~~ ~ ~		
	指標	指标	票名称	単位	29年度	30年度	元年度	2年度
	指標 区分		票名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
指標の推移	指標 区分	オーストラリア	票名称 派遣により成果を	単位人				計画
指標の推移	指標 区分	オーストラリア 得た団員数	派遣により成果を		実績	実績	計画	
指標の推移	指標 区分	オーストラリア 得た団員数 アメリカ派遣に			実績	実績	計画	計画
指標の推移	指標 区分	オーストラリア 得た団員数 アメリカ派遣に 員数	派遣により成果をより成果をより成果を得た団	Д Д	実績 20 19	実績 20 0	計画 0	計画 20
	指標 区分	オーストラリア 得た団員数 アメリカ派遣に 員数 ■達成、	派遣により成果をより成果を得た団	人 人 〇多少は道	実績 20 19 転した 〇	実績 20 0 達成できず	計画 0 20	計画 20 0
達成度の	指標区分 評価	オーストラリア 得た団員数 アメリカ派遣に 員数 ●達成、 さくら市の	派遣により成果を より成果を得た団 既ね達成した ( ひ2つの中学校に	人 人 〇多少は遠 在籍する	実績 20 19 <sup>直成した 〇</sup> <sup>主徒から、オー</sup>	実績 20 0 達成できず ーストラリア》	計画 0 20 <	計画 20 0 、を選考し、
	指標 区分	オーストラリア 得た団員数 アメリカ派遣に 員数 ●達成、 さくら市の	派遣により成果をより成果を得た団	人 人 〇多少は遠 在籍する	実績 20 19 <sup>直成した 〇</sup> <sup>主徒から、オー</sup>	実績 20 0 達成できず ーストラリア》	計画 0 20 <	計画 20 0 、を選考し、
達成度の 評価と説明	指標 区分 評価 説明	オーストラリア 得た団員数 アメリカ派遣に 員数 ●達成、 さくら市の 現地学校と	派遣により成果を より成果を得た団 既ね達成した (ひ2つの中学校に との交流やホーム	人 人 〇多少は遠 在籍する ステイを行	実績 20 19 <u>を成した 〇</u> き徒から、オーテい、生徒の[	実績 20 0 達成できず ーストラリア》 国際的視野の担	計画 0 20 派遣団(20名)。 広大を図るこ	計画 20 0 、を選考し、
達成度の 評価と説明 見直し余地	指標区分評価説明定	オーストラリア 得た団員数 アメリカ派遣に 員数 ●達成、 さくら市の 現地学校と	派遣により成果を より成果を得た団 既ね達成した (ひ2つの中学校に との交流やホーム	人 人 〇多少は遠 在籍する ステイを行	実績 20 19 <sup>直成した 〇</sup> <sup>主徒から、オ</sup>	実績 20 0 達成できず ーストラリア》 国際的視野の担	計画 0 20 <	計画 20 0 、を選考し、
達成度の 評価と説明 見直し余地 ■将来方向性【	指標区分評価説明定改善(	オーストラリア 得た団員数 アメリカ派遣に 員数 ●達成、 さくら市の 現地学校と	派遣により成果を より成果を得た団 既ね達成した ( ひ2つの中学校に との交流やホーム に見直し可能 (	人 人 〇多少は遠 在籍する ステイを行	実績 20 19 <u>に成した 〇</u> 主徒から、オーテい、生徒の[ るがまだ時]	実績 20 0 達成できず ーストラリア》 国際的視野の担	計画 0 20 派遣団(20名)。 広大を図るこ	計画 20 0 、を選考し、
達成度の 評価と説明 見直し余地	指標区分評価説明定改善(	オーストラリア 得た団員数 アメリカ派遣に 員数 ●達成、 さくら市の 現地学校と 〇数年内 Action)	派遣により成果を より成果を得た団 既ね達成した (ひ2つの中学校に との交流やホーム	人 人 〇多少は遠 在籍するを ステイを行 〇余地はあ	実績 20 19 <u>に成した 〇</u> 主徒から、オーテい、生徒の[ るがまだ時]	実績 20 0 達成できず ーストラリア》 国際的視野の記 間が必要	計画 0 20 派遣団(20名)。 広大を図るこ	計画 20 0 、を選考し、 とができた。

事務事業調書(			<b>後評価</b> )					
事務事業名	さくら	市給付型奨	学金事業			事業開	開始年度 円	<sup>7</sup> 成28年度
担当課	教育委	長員会 学校教	<b>教育課</b>		担当者	大	澤潤一	
■事業の執行計								
	政策	03	文化薫る心豊	豊かな人材	の育成			
総合計画体系	施策	03	確かな学力と	上健やかな	心や体を育む	〉学校教育		
	基本事	<b>事業</b> 01	確かな学力の	の育成				
 事業の目的	優秀な	成績で大学を	·志望するも、金釒	銭面が原因	で進学ができ	ない者へ、入	学金相当額(	D給
争未の日的	付をす	ることにより	一人でも多くの個	憂秀な人材	を育成するた	め。		
事業の振声			金を希望する者が				催する。	
事業の概要			っては当該制度					
■事業実施結果	【実施	(Do) ]						
		年度	29年度			丰度		年度
事業費の推移	実紀	績/当初予算	実績		実	!績		当初
		総事業費	282		5	62	1, 500	
■前年度の事業		【評価(Check						
	指標	塩:	標名称	単位	29年度	30年度	元年度	2年度
	区分	18,	赤口   小	辛匹	実績	実績	計画	計画
指標の推移	活動	給付人数		7	1	2	3	4
1日1ホッノ1正1タ	石刧	机门八奴		^	•	2	J	
				人				
				, ,				
	評価			●多少は遺		達成できず		
達成度の			給を決定したが、	1 名辞退#	があったため。			
評価と説明	説明							
			、給付要件の見直					
見直し余地	判定		に見直し可能(	<u>〇余地はあ</u>	るがまだ時間	間が必要 〇	余地なし	
	71 -	(Action) ]						
事業の方向性			見状どおり継続	〇廃止・				
資源方向性	子首	算額  ●拡力	こ 〇現状 〇縮小	١	業務量	: ┃●拡大(	Ͻ現状 〇縮-	/l\

事務事業調書(	通常評		(評価)					
事務事業名	小学校	教育振興事業	=				開始年度 平	·成30年度
担当課	教育委	員会 学校教	<b>対育課</b>		担当者	橋	本宜之	
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】						
	政策	03	文化薫る心豊	豊かな人材	の育成			
総合計画体系	施策	03	確かな学力と			)学校教育		
	基本事	業 01	確かな学力の	り育成				
事業の目的			事等の中で多彩		き出し、児童	の学習意欲を	高める。	
事業の概要	小学校	の総合的な学	習において、地域	或外部講師	による書写及	び各種指導を	行う。	
■事業実施結果	【実施	(Do)						
		年度	29年度			丰度		:年度
事業費の推移	実績	責/当初予算	実績		美	!績	当初	
	糸	総事業費	0		14,	497	15	, 562
■前年度の事業	分析【	評価(Check)						
	指標	+6+	票名称	単位	29年度	30年度	元年度	2年度
	区分	181	示12 1小	丰四	実績	実績	計画	計画
指標の推移		日常生活におい づきが増した児	ても興味関心や気 童数	人		2, 597	2, 581	2, 581
	評価	●達成、	既ね達成した(	○多少は遺	i成した Oi	達成できず		
達成度の		小学校の約	総合的な学習にお	いて、地域	或外部講師に。	よる書写及び名	5種指導を実	施し、普段の
評価と説明	説明	生活におい	いて、興味関心や	意欲が高る	<b>まった。</b>			
見直し余地	判定	〇数年内	こ見直し可能 (	○余地はあ	るがまだ時間	間が必要 ●	余地なし	
		Action) ]						
事業の方向性		し継続 ●3	見状どおり継続	〇廃止・	完了			
資源方向性	予算		: ●現状 ○縮小	١	業務量	○拡大	現状 〇縮/	<u>'</u> ]\

事務事業調書(			<b>後評価</b> )					
事務事業名	中学校	交教育振興事業	ŧ			事業開	開始年度 平	成30年度
担当課	教育委	長員会 学校教	<b>教育課</b>		担当者	橋	本宜之	
■事業の執行計	画【計	·画(Plan)】			_			
	政策	03	文化薫る心豊	豊かな人材	の育成			
総合計画体系	施策	03	確かな学力と	ヒ健やかな	心や体を育む	〕学校教育		
	基本事	<b>事業</b> 01	確かな学力の	の育成				
事業の目的	学校生	活、授業、行	事等の中で多彩	な活動を引	き出し、生徒	の学習意欲を	高める。	
事業の概要	中学校の授業において、地域外部講師による書写及び各種指導を行う。							
■事業実施結果	【実施	ī (Do) ]						
		年度	29年度		30₫	丰度		;年度
事業費の推移	実績	績/当初予算	実績		実	!績	È	当初
		総事業費	0		9, 3	328	10,	, 700
■前年度の事業		【評価 (Check)						
	指標	te:	 標名称	単位	29年度	30年度	元年度	2年度
	区分	181	宗口你	丰四	実績	実績	計画	計画
指標の推移			おいても興味関心	,		1, 234	1, 238	1, 238
1日1示 マノ1圧1タ		や気づきが増し	た生徒数			1, 204	1, 200	1, 200
	評句	●達成、	概ね達成した(	○多少は遺	成した Oi	達成できず		•
達成度の			受業において、地				を 行い、生徒	の学習意欲を
評価と説明	説明		とができた。					
見直し余地	判定	●数年内	に見直し可能(	〇余地はあ	るがまだ時間	間が必要 〇	余地なし	
■将来方向性【		(Action)			-			
事業の方向性		し継続 ●理	見状どおり継続	〇廃止・	完了			
資源方向性			、●現状 〇縮小	\	業務量	○拡大	現状 〇縮/	]\

	通常評		(幹価)					
事務事業名	児童生	徒健康管理事	業			事業開	始年度 平	成20年度
担当課	教育委	員会 学校教	<b>対育課</b>		担当者	田·	代浩貴	
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】						
	政策	03	文化薫る心豊	豊かな人材	の育成			
総合計画体系	施策	03	確かな学力と			〕学校教育		
	基本事	業 02	豊かな心と係	建やかな体	の育成			
事業の目的	疾病の	早期発見及び	予防を図る。					
争未の日的	疾病が	あった場合は	治療勧告並びに	事後指導を	行う。			
車業の無再	学校保	健法の規定に	基づく児童生徒へ	への健康診	断及び健康管	理に関する事	務を行う。	
事業の概要								
■事業実施結果	【実施	(Do)						
		年度	29年度		304	<b>丰度</b>	元	年度
事業費の推移	実績	[/当初予算	実績		美	!績	7	当初
	糸	総事業費	7, 684		7, 5	545	7, 913	
■前年度の事業		評価 (Check)						
	指標	+6+	票名称	単位	29年度	30年度	元年度	2年度
	区分	181	宗石 你	中位	実績	実績	計画	計画
指標の推移	,	0.2014-102-102-102-102-102-102-102-102-102-102		人(延)	153	207	170	170
担保の推修	4	2次快的文的"目	P 依 拍 导 守 夫 肔 白 致	人(進)	100	207	170	170
	評価	●達成、	既ね達成した(	○多少は遺	成した Oi	達成できず		
達成度の		学校保健活	去の規定に基づく	児童生徒~	への健康診断る	を実施し、疾症	の早期発見.	及び予防を図
評価と説明	説明	ることがつ	できた。					
見直し余地	判定	〇数年内	に見直し可能(	○余地はあ	るがまだ時間	間が必要 ●	余地なし	
■将来方向性【	改善(	Action) ]						
事業の方向性		し継続 ●3	見状どおり継続	〇廃止・	完了			
資源方向性	予算		、●現状 〇縮小	\	業務量	○拡大●	現状 〇縮小	١

事務事業調書(	(通常評	<u> </u>	<b>と評価)</b>					
事務事業名		校特別活動袝	甫助事業					戊26年度
担当課	教育委		<b>教育課</b>		担当者	大	睪潤一	
■事業の執行計								
	政策	03	文化薫る心豊					
総合計画体系	施策	03			心や体を育む	学校教育		
	基本事		豊かな心と仮		の育成			
事業の目的	体育・	文化活動に参 	加する児童生徒だ	が増加する				
事業の概要	事業の概要 市立小学校6校、市立中学校2校が、児童・生徒の体育、文化活動を通し、体力の伸長・ 充実並びに情操の高揚を図るための活動に対して補助を行う							
■事業実施結果	【実施	(Do)						
		年度	29年度		30年		元年	
事業費の推移	実績	責/当初予算		実績		漬	当初	
		総事業費	11, 519		11, 8	86	11, 2	138
■前年度の事業		評価 (Check)	) ]					
	┃指標┃ ┃区分┃	指标	漂名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
指標の推移		児童一人当たり	の補助金額	円	1, 232	1, 246	1, 246	1, 246
	成果	生徒一人当たり		円	4, 720	6, 482	6, 482	6, 482
	成果 評価	」 ■達成、	概ね達成した(	 	L 虚成した O達	成できず	ļ	
 達成度の	評価	」 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	概ね達成した ( 交6校、市立中学	 ○多少は達  校 2 校が、	 <u> </u>   成した   〇達   児童   生徒の	 成できず 体育、文化活	動を通し、体	
達成度の 評価と説明		」 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	概ね達成した(	 ○多少は達  校 2 校が、	 <u> </u>   成した   〇達   児童   生徒の	 成できず 体育、文化活	動を通し、体	
	評価	i ●達成、 市立小学校 充実並び	概ね達成した ( 交6校、市立中学 に情操の効用を図	   <u> </u>             校 2 校が、   るための消	 <u> </u>   成した   〇達   児童   生徒の	成できず 体育、文化活 助を行うこと	動を通し、体	
評価と説明 見直し余地	説明	i ●達成、 市立小学校 充実並び	概ね達成した ( 交6校、市立中学 に情操の効用を図	   <u> </u>             校 2 校が、   るための消	 <u>  成した   〇達</u>  児童・生徒の    括動に対して補	成できず 体育、文化活 助を行うこと	 5動を通し、体 ∶ができた。	
評価と説明 見直し余地	説明 判定 改善 (	i ●達成、 市立小学校 充実並び!	概ね達成した ( 交6校、市立中学 に情操の効用を図	 	 <u>に成した</u> 〇達 児童・生徒の 活動に対して補 らるがまだ時間	成できず 体育、文化活 助を行うこと	 5動を通し、体 ∶ができた。	

			(全)						
	就学時	心臓検診充乳				事業開	開始年度 平	成26年度	
担当課	教育委	員会 学校教	) 育課		担当者	橋	本宜之		
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】							
	政策	03	文化薫る心豊	豊かな人材	の育成				
総合計画体系	施策	03	確かな学力と	ニ健やかな	心や体を育む	〉学校教育			
	基本事	業 02	豊かな心と優	建やかな体	の育成				
事業の目的	心臓疾	患の早期発見	及び治療勧告を行	うう。					
事業の概要	診を実	施する。	栃木県就学時心服	蔵検診実施	要項に基づき	、小学校1年生	Eに関する心!	臓検	
■事業実施結果	【実施	(Do)							
		年度	29年度			丰度		年度	
事業費の推移	実統	責/当初予算	実績	績 実績		!績	<u> </u>	当初	
		総事業費	1, 142		1, 0	064	当初 1,348		
■前年度の事業									
	指標	培护	漂名称	単位	29年度	30年度	元年度	2年度	
	区分	181	未口小	辛匹	実績	実績	計画	計画	
指標の推移		2次検診受診者数	牧	人	14	13	13	13	
	評価	」●達成、	概ね達成した (	○多少は遺	i 成した Oi	達成できず	-		
達成度の		学校保健家	安全法及び栃木県	:就学時心服	蔵検診実施要 <sup>項</sup>	頁に基づき、小	小学校1年生に	異する心臓検	
評価と説明	説明 診を実施した。								
見直し余地	判定	? ○数年内	に見直し可能(	つ全地はお	るがまだ時間	閉が必亜 ●	余地なし		
		Action)】		<u> </u>	ン の 12 P寸 I	HJ /3 / 20 / 女	7.75.4 C		
事業の方向性		,	見状どおり継続	〇廃止・	完了				
<u>事業の別間性</u> 資源方向性	予算		、●現状 〇縮小		上 一業務量	○拡大	現状 〇縮/	ls .	
<b>人心儿儿儿</b>	J´ <del>J</del>			•	木切里			, ,	

事務事業調書(	通常評		(評価)							
事務事業名	マイチ	ャレンジ推済	重事業(氏中)			事業開	開始年度 平	成26年度		
担当課	教育委	員会 学校教	<b>対育課</b>		担当者	橋:	本宜之			
■事業の執行計		画(Plan)】								
	政策	03	文化薫る心質	豊かな人材	の育成					
総合計画体系	施策	03			:心や体を育む	)学校教育				
	基本事		豊かな心と係							
事業の目的	心の教 <sup>™</sup> ぶ。	育の一環とし	て地域の方と関	りることに	より社会の一	員としての個	々の構えを学	<u> </u>		
事業の概要		F生が様々なF	<b>繊種において職場</b>	<b>体験活動</b> る	を行う。					
■事業実施結果	【実施	(Do)								
		年度	29年度		304	年度		;年度		
事業費の推移	実績	∮/当初予算	実績		美	<b>経</b> 績	<u> </u>	当初		
	糸	総事業費	377			0		0		
■前年度の事業分析【評価(Check)】										
	指標	坦	票名称	単位	29年度	30年度	元年度	2年度		
	区分	181	<b>赤 1</b> 1 1小	辛匹	実績	実績	計画	計画		
指標の推移		職場体験により きた生徒数	成長したと実感で	人	363	330	304	304		
	評価	●達成、	既ね達成した(	○多少は遺	を成した 〇分	達成できず				
達成度の		中学2年生	が様々な職種にる	おいて職場	体験活動を行	い、社会の一	員としての原	<b>붗長を感じるこ</b>		
評価と説明	説明とができた。									
見直し余地	判定	〇数年内	こ見直し可能 (	○余地はあ	るがまだ時	間が必要 ●	余地なし			
■将来方向性【改善 (Action) 】										
事業の方向性		し継続 ●理	現状どおり継続	〇廃止・	完了					
資源方向性 予算額 ○拡大 ●現状 ○縮小 業務量 ○拡大 ●現状 ○縮小								١,		

事務事業調書(	通常評	一個事業 事後	<b>後評価</b> )								
事務事業名		-ルカウンセ	ラー活用事業			事業開	始年度 平	成26年度			
担当課	教育委	員会 学校教	<b>收育課</b>		担当者		月女康弘				
■事業の執行計											
	政策	03	文化薫る心豊	豊かな人材	の育成						
総合計画体系	施策	03	確かな学力と	上健やかな	心や体を育む	)学校教育					
	基本事	基本事業   02   豊かな心と健やかな体の育成									
事業の目的	特に配慮が必要な児童生徒が安定した学校生活を送れるようにする。										
7 5/4 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	また、悩みがある保護者のカウンセリングを実施する。 県費及び市費で小中学校8校に対し、4人のスクールカウンセラーを派遣している。										
事業の概要	県箕及 	ひ巾貨で小甲	字校8校に対し、	4人のスク	<b>7ールカワン</b> t	2フーを派遣し	している。				
■事業実施結果	【実施	(Do)									
		年度	29年度		30至			;年度			
事業費の推移		漬/当初予算	実績		実績						
		総事業費	5, 562		8, 5	20	9,	当初 9,368			
■前年度の事業		<u>[評価 (Check)</u>									
	指標	指	漂名称	単位	29年度	30年度	<u>元年度</u>	2年度			
	区分	711	ж <b>п</b> П		実績	実績	計画	計画			
指標の推移		カウンセリング	派遣回数	回	177	240	240	240			
	評価	●達成、	概ね達成した(	○多少は遺	i 成した Oi	達成できず		'			
達成度の		特に配慮が	が必要な児童生徒			差れるようにす	トることがで	きた。			
評価と説明	説明	また、悩み	みがある保護者の	カウンセリ	Jングを実施し	<b>」た。</b>					
見直し余地	判定	〇数年内	に見直し可能(	〇余地はあ	るがまだ時間	引が必要 ●:	余地なし				
	710	(Action) ]									
事業の方向性			見状どおり継続	〇廃止・	<del>,</del>						
資源方向性	予算	算額 ┃●拡大	こ 〇現状 〇縮小	١	業務量		<u>)現状 〇縮/</u>	١\			

事務事業調書(	通常評価事業	事後	評価)								
事務事業名	マイチャレン	ジ推進	事業(喜中)			事業開	開始年度 平	成26年度			
担当課	教育委員会 :	学校教	育課		担当者	橋:	本宜之				
■事業の執行計	画【計画(Pla	ın)									
	政策										
総合計画体系	施策	施策 03 確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育									
	基本事業	02	豊かな心と優	建やかな体	の育成						
事業の目的	心の教育の一項 ぶ。	景として	地域の方と関	つることに	より社会の一	員としての個	々の構えを学	2			
事業の概要	様々な職種にお	さいて暗	战場体験活動を行	<b>う</b> 。							
■事業実施結果	【実施(Do)】										
	年度		29年度			丰度		;年度			
事業費の推移	実績/当初予算 実績				実	<b>!</b> 績	当初				
	総事業費		185			0		0			
■前年度の事業		heck)									
	指標	指標	夕称	単位	29年度	30年度	元年度	2年度			
	区分	1日1ホ	11 117	辛匹	実績	実績	計画	計画			
指標の推移	職場体験 きた生徒		長したと実感で	人	69	67	78	78			
	評価 ●達	成、概	ね達成した(	○多少は遺	i成した 〇)	達成できず	-				
達成度の	中学	2年生か	「様々な職種には	おいて職場	体験活動を行	い、社会の一	員としての成	<b>붗長を感じるこ</b>			
評価と説明	説明とが	できた。	0								
見直し余地	判定 〇数	年内に	見直し可能 (	○余地はあ	るがまだ時間	間が必要 ●	余地なし				
	改善(Action)										
事業の方向性	〇見直し継続	●現:	状どおり継続	〇廃止・	完了						
資源方向性	予算額 (	D拡大	●現状 〇縮小		業務量	○拡大	現状 〇縮/	<u> \</u>			

事務事業調書(	通常評価事		<b>後評価</b> )						
事務事業名	給食センタ	一管理道	<b>重営事業</b>			事業開	開始年度 平	成27年度	
担当課	教育委員会	学校教	<b>教育課</b>		担当者	金	井伸夫		
■事業の執行計	画【計画(	Plan) 】							
	政策	03	文化薫る心質	豊かな人材	の育成				
総合計画体系	施策	03	確かな学力。	と健やかな	∵心や体を育む	)学校教育			
	基本事業	02	豊かな心と低	建やかな体	の育成				
事業の目的	安心・安全	安心・安全でおいしい栄養バランスのとれた給食を供給する。							
事業の概要	昭和43年度	より喜連	川地区小中学校	給食を開始	、平成12年度	に現施設に更	新しており所		
争未の似女		『県職』	、調理師、調理」	員、臨時職	員(調理員·	配送員)で、智	管理運営。		
■事業実施結果	【実施(Do	) ]							
	年度		29年度			年度		年度	
事業費の推移	移 実績/当初予算		実績				当初		
	総事業		37, 574		41,	360	49,	707	
■前年度の事業		(Check							
	指標	指	標名称	単位	29年度	30年度	元年度	2年度	
	区分	10.	יין בו יוין.	+12	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	成果 給食	に関する事	故等件数 0件	%	0	0			
	評価	達成、	概ね達成した	○多少は遠		達成できず			
達成度の									
評価と説明	説明								
見直し余地	判定 (	)数年内	に見直し可能	○金地はね	るがまだ時	間が必要 ●	余地なし		
	改善(Acti		, <u>-                                   </u>	<u> </u>	<i>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </i>		,,,		
事業の方向性	〇見直し組	, _	見状どおり継続	〇廃止・	完了				
資源方向性	予算額		、●現状 〇縮小		業務量	○拡大●	現状 〇縮小	`	

事務事業調書(	通常評価		(評価)						
事務事業名	学級経営	基盤整備事	業				始年度   平	成21年度	
担当課	教育委員:	会 学校教	女育課		担当者	橋:	本宜之		
■事業の執行計	画【計画	(Plan)							
	政策	03	文化薫る心豊	豊かな人材	の育成				
総合計画体系	施策	03	確かな学力と	ニ健やかな	心や体を育む	〉学校教育			
	基本事業	02	豊かな心と係	建やかな体	の育成				
古米の口的	調査を実施	拖し、その	結果をもとに学	級経営を見	直し、児童生	徒の心理状態	を確認しなが	ら	
事業の目的	児童生徒6	の問題行動	を未然に防ぐ。						
申業の揺曲	いじめ・フ	下登校の未	然防止等のため、	学校にお	ける学級集団	アセスメント	を把握するた	:め	
事業の概要	の検査(Q-	-U検査) をす	<b>尾施する。</b>						
■事業実施結果									
	年	度	29年度		304	<b>丰度</b>	元	年度	
事業費の推移	実績/当	的予算	実績		美			<b>当初</b>	
	総事	業費	618		6	27	6	667	
■前年度の事業分析【評価(Check)】									
	指標	+6+	票名称	単位	29年度	30年度	元年度	2年度	
	区分	181	示12 1小	丰四	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	Q-U	調査を活用し	<b>して学級運営をして</b>	%	100	100	100	100	
担保の推修	いる	5学級割合		70	100	100	100	100	
	評価	●達成、	既ね達成した(	○多少は遺	を成した 〇分	達成できず			
達成度の		調査を実施	<b>拖し、その結果を</b>	・もとに学紀	吸経営を見直	ン、児童生徒の	つ心理状態を	確認しながら	
評価と説明	説明	児童生徒0	の問題行動を未然	に防ぐこと	とができた。				
見直し余地	判定	〇数年内	こ見直し可能 (	○余地はあ	るがまだ時間	間が必要 ●:	余地なし		
■将来方向性【改善(Action)】									
事業の方向性	○見直し		見状どおり継続	〇廃止・					
資源方向性 予算額 ○拡大 ●現状 ○縮小 業務量 ○拡大 ●現状 ○縮小									

事務事業調書(	通常評	<b>萨価事業 事</b> 後	<b>後評価</b> )							
事務事業名	適応支	援教室運営事				事業開	開始年度 平	成22年度		
担当課	教育委	長員会 学校教	<b>教育課</b>		担当者	五	月女康弘			
■事業の執行計		·画(Plan)】								
	政策	03	文化薫る心豊	豊かな人材	の育成					
総合計画体系	施策	E策 ┃03 ┃確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育								
	基本事	事業 02	豊かな心と係	建やかな体	の育成					
事業の目的	不登校	5児童生徒等が	、将来の社会的な	な自立に向	けてエネルギ	ーを養うこと	ができる。			
事業の概要	教室に	教育相談員を	配置し、個に応	じた支援を	行うことによ	り心を安定さ	せる。			
■事業実施結果	【実施	(Do)								
		年度	29年度			<b>丰度</b>				
事業費の推移	実績	漬/当初予算	実績			績	女康弘			
		総事業費	6, 384		6, 7	'30	7,	417		
■前年度の事業		〔評価 (Check)								
	指標	- 培护	標名称	単位	29年度	30年度				
	区分	161	<b>자니기</b> 가	<del>+</del> 12	実績	実績	計画	計画		
指標の推移		適応指導教室通	級児童生徒数	人	5	16	16	16		
	評価	●達成、	概ね達成した (	○多少は遺	id Lた Oi	達成できず	ļ			
達成度の							を養うことが	できた。		
評価と説明	説明						-20	2.20		
見直し余地	判定	〇数年内	に見直し可能の	〇余地はあ	るがまだ時間	間が必要 ●	余地なし			
■将来方向性【改善(Action)】										
事業の方向性	〇見直		見状どおり継続	〇廃止・						
資源方向性										

事務事業調書(	通常評価	事業 事後	(評価)							
事務事業名	学校給食'							平成30年度		
担当課	教育委員:		<b>対育課</b>		担当者	古	澤篤			
■事業の執行計		(Plan)								
	政策	03	文化薫る心質							
総合計画体系	施策	03	確かな学力。			)学校教育				
	基本事業	02	豊かな心と係							
事業の目的	調理業務委託、学校給食施設整備、調理備品等の適正管理を行い、安定して学校給食を提									
学来の口的	供することを目的とする。									
事業の概要	調理業務委	委託、給食	備品、消耗品の原	購入、給食	施設整備点検	、清掃、細菌	検査等を行	う。		
■事業実施結果		00)	20 -			<del></del>	<u> </u>			
+ * # a !# 15	年		29年度			年度		元年度		
事業費の推移	実績/当初予算 実績 総事業費 0					積	当初			
		-11-2-4	0		107,	967	10	06, 118		
■前年度の事業		西 (Check)	1		00 -			0 <del>-</del> -		
	指標	指林	票名称	単位	29年度	30年度	元年度	2年度		
	区分				実績	実績	計画	計画		
指標の推移			食が提供できな	%		0	0	0		
		った件数(小								
		双等により給 った件数(中	食が提供できな 学校)	%		0	0	0		
	評価			L ○多少は達		<u>L</u> 達成できず	<u> </u>	<u> </u>		
達成度の	計画	●连戍、1	以14年以した			主风でです				
評価と説明	説明									
一田 こ 元切	ロル・ジフ									
見直し余地	判定	●数年内	こ見直し可能	○余地はを	るがまだ時	間が必要 〇	余地なし			
	改善(Act		70 <u>110</u>				.,			
事業の方向性	●見直し	,	現状どおり継続	〇廃止・	完了					
	資源方向性 予算額  ●拡大 〇現状 〇縮小 業務量  ●拡大 〇現状 〇縮小									

事務事業調書(			(全)							
事務事業名	小学核	<b>饺施設補修整</b> 仿	事業					成17年度		
担当課	教育委	長員会 学校教	<b>対育課</b>		担当者	笹	沼 修作			
■事業の執行計										
	政策	03	文化薫る心豊	豊かな人材	の育成					
総合計画体系	施策	施策 03 確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育								
	基本事	3業 03	安全・安心な	教育環境(	の実現					
事業の目的	小学校	を施設及び設備	を、指導上、保保	建衛生上、	安全上及び管	理上適切な状	態に維持する	0 .		
事業の概要	現地調	査・ヒアリン	備の補修や整備。 グを行い、緊急原		に応じて実施	0				
■事業実施結果	【実施	(Do)								
		年度	29年度			丰度				
事業費の推移	実績	績/当初予算	実績		美	!績	7	修作		
		総事業費	11, 181		29,	929	12,	499		
■前年度の事業分析【評価(Check)】										
	指標	塩	票名称	単位	29年度	30年度				
	区分	1日1	<b>未</b> 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	辛匹	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	要望対応率		%	100	100	100	100		
	評価	」●達成、	既ね達成した(	○多少は遺	成した Oi	達成できず		*		
達成度の										
評価と説明	説明	<b>月</b>								
見直し余地	判定	■ ●数年内	に見直し可能 (	〇余地はあ	るがまだ時間	間が必要 〇	余地なし			
■将来方向性【改善(Action)】										
事業の方向性	●見直	፤し継続 ○ヨ	見状どおり継続	○廃止・						
資源方向性										

事務事業調書(	通常評価	五事業 事後	<b>後評価</b> )								
事務事業名	中学校加	沲設補修整价	<b>⋕事業</b>			事業開	┦始年度 ┦	<sup>2</sup> 成17年度			
担当課	教育委員	員会 学校教	<b>教育課</b>		担当和	<b>笹</b>	沼修作				
■事業の執行計	画【計画	र्ष (Plan) 🕽									
	政策	03	文化薫る心質	豊かな人材	の育成						
総合計画体系	施策	03									
	基本事業	基本事業 03 安全・安心な教育環境の実現									
事業の目的	中学校旅	施設及び設備	を、指導上、保信	建衛生上、	安全上及び管	理上適切な状	態に維持する	5.			
事業の概要	各中学校	交施設及び設	備の補修や整備。	)							
■事業実施結果	【実施	(Do)									
		年度	29年度			年度		年度			
事業費の推移	実績/当初予算 実績				実績		当初				
		事業費	27, 783		3,	960	5,	533			
■前年度の事業	前年度の事業分析【評価(Check)】										
	指標	指	標名称	単位	29年度	30年度	元年度	2年度			
	区分	1111	ж <b>п</b> 11.	<b>—</b>   <b>—</b>	実績	実績	計画	計画			
指標の推移	成果	夏望対応率		%	100	100	100	100			
	評価	●達成、	概ね達成した(	○多少は遺	成した 〇	達成できず	•				
達成度の											
評価と説明	説明										
見直し余地	判定	●数年内	に見直し可能(	○全地はね	るがまだ時	問が必要 ○	余地なし				
		ction)		C /\ '= 10 0	7 W 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	H] 70 72 75 C	7,7:0.0 U				
事業の方向性	D 更 見 直 し		見状どおり継続	〇廃止・	<del>皇</del> 了						
			予算額 │○拡大 ●現状 ○縮小 業務量  ○拡大 ●現状 ○縮小								
資源方向性	子質:	餌 ┃○拡大	- ●現状 ○縮小	\	<b>業経</b> 量	1()拡大 🛮	1月7片()残6万	/I\ I			

事務事業調書(			(全)							
事務事業名	小学杉	<b>E施設長寿命</b> (	比改良事業					F成29年度		
担当課	教育委	員会 学校教	<b>汝育課</b>		担当者	笹	沼修作			
■事業の執行計	画【計	·画(Plan)】								
	政策	03	文化薫る心豊	豊かな人材	の育成					
総合計画体系	施策	03	確かな学力と	≤健やかな	心や体を育む	)学校教育				
	基本事	第 03	安全・安心な	教育環境(	の実現					
古来の口的	財政負	オ政負担が膨れる恐れがあるため、学校施設の老朽化対策、教育環境の質的改善、環境対								
事業の目的	策を併	せて実施し、	財政支出の削減。	ヒ平準化を	図る。					
中帯の恒田	さくら	さくら市学校施設長寿命化計画を基に非構造部材老朽化調査、外壁調査等を行い各施設の								
事業の概要	予防保	全、再生整備	を行う。学校施記	<b>设長寿命化</b>	改良工事を行	う。				
■事業実施結果										
		年度	29年度		304	<b>丰度</b>	年度			
事業費の推移	実績	責/当初予算	実績		実績		当初			
		総事業費	9, 202			0	1,	, 969		
■前年度の事業	業分析【評価(Check)】									
	指標	te i		単位	29年度	30年度	元年度	2年度		
	区分	7日1	宗 口 你	<b>事</b> 位	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果		行った小学校建物	%	0	0	0	5		
1日1示り1日1岁	从木	数の割合		70	O .	O .	0	J		
	評価	<u> ■達成、</u>	概ね達成した (	○多少は遺	<u> i成した Oi</u>	達成できず				
達成度の										
評価と説明	説明	]								
見直し余地	判定	〇数年内	に見直し可能(	●余地はあ	るがまだ時間	間が必要 〇	余地なし			
		Action) ]								
事業の方向性		[し継続 〇耳	見状どおり継続	〇廃止・						
資源方向性	予算額  ●拡大 ○現状 ○縮小 業務量  ●拡大 ○現状 ○縮小							小		

事務事業調書(			(全)							
事務事業名	中学核	<b>E施設長寿命</b> (	比改良事業					平成29年度		
担当課	教育委	員会 学校教	) 育課		担当者	笹	沼修作			
■事業の執行計	画【計	·画(Plan)】								
	政策	03	文化薫る心豊	豊かな人材	の育成					
総合計画体系	施策	03	確かな学力と	と健やかな	:心や体を育む	)学校教育				
	基本事	基本事業 03 安全·安心な教育環境の実現								
事業の目的	財政負	担が膨れる恐	れがあるため、	学校施設の	老朽化対策、	教育環境の質	的改善、環境	境対		
争未の日的	策を併	せて実施し、	財政支出の削減。	と平準化を	図る。					
事業の概要	さくら	市学校施設長	寿命化計画を基し	こ非構造部	材老朽化調査	、外壁調査等	を行い各施	設の		
争未の似安	予防保	:全・再生整備	を行う。学校施記	设の長寿命	化改良工事を	行う。				
■事業実施結果										
		年度	29年度			年度		<del>-</del> 年度		
事業費の推移	実終	責/当初予算	実績		実績		当初			
	;	総事業費	12, 755		241,	674		0		
■前年度の事業	業分析【評価(Check)】									
	指標	te i		単位	29年度	30年度	元年度	2年度		
	区分	1日1	宗口你	- 単位	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	成果	長寿命化改良を 数の割合	行った中学校建物	%	0	8	8	8		
		数の削口								
	評価	<b>」</b> ●達成、	概ね達成した(	○多少は遺	成した 〇	 達成できず	Į.			
達成度の			こ業務を行った。	<u> </u>						
評価と説明	説明		213 2 13 2 120							
11 IM C 150 71	2007									
見直し余地	判定	2 〇数年内	に見直し可能(	●余地はあ	るがまだ時	間が必要 〇	余地なし			
■将来方向性【改善(Action)】										
事業の方向性		し継続 OI	見状どおり継続	O廃止・	完了					
資源方向性	予算額 ●拡大 ○現状 ○縮小 業務量 ●拡大 ○現状 ○縮小									

## 事務事業調書(诵常評価事業 事後評価) 事務事業名 コミュニティ・スクール活用事業 事業開始年度 平成30年度 担当課 学校教育課 担当者 教育委員会 五月女康弘 ■事業の執行計画【計画 (Plan) 政策 03 文化董る心豊かな人材の育成 03 総合計画体系 施策 確かな学力と健やかな心や体を育む学校教育 安全・安心な教育環境の実現 保護者や地域が学校の様々な課題解決に参画し、それぞれの立場で主体的に子供たちの成 事業の目的 長を支えていく。 保護者や地域住民が学校運営に参画する学校運営協議会制度の導入により、地域の力を学 事業の概要 校運営に生かす地域とともにある学校づくりを推進する ■事業実施結果【実施 (Do) 30年度 元年度 年度 29年度 実績 実績 当初 事業費の推移 実績/当初予算 総事業費 204 594 0 ■前年度の事業分析【評価 (Check) 指標 29年度 30年度 元年度 2年度 単位 指標名称 区分 実績 実績 計画 計画 指標の推移 会議の開催回数 6 ●達成、概ね達成した ○多少は達成した 〇達成できず 評価 達成度の 氏家小学校、熟田小学校で学校運営協議会を設立した 評価と説明 説明

IO数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし

〇縮小

■将来方向性【	改善(Action			
事業の方向性	〇見直し継続	・ ●現状どおり継続 〇廃」	上・完了	
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小	業務量	■拡大 ○現状

見直し余地

判定

事務事業調書(			<b>後評価</b> )							
事務事業名							成30年度			
担当課	教育委員会 学校教育課				担当者	笹:	沼 修作			
■事業の執行計										
	政策									
総合計画体系	施策 0		03 確かな学力と健やかな心や体を			)学校教育				
	基本事	業 03	安全・安心な教育環境の実現							
事業の目的		上松山小学校校舎増設								
事業の概要	校舎増設に係る実施設計業務及び建築・電気・機械設備工事									
■事業実施結果	【実施	(Do)								
		年度	29年度		30年度		元年度			
事業費の推移	実統	責/当初予算	実績		実績		当初			
		総事業費	0		14, 122		324, 352			
■前年度の事業		評価 (Check)								
	指標	塩	標名称	単位	29年度	30年度	元年度	2年度		
	区分	181	宗口你		実績	実績	計画	計画		
指標の推移	活動	当該年度業務・	工事の出来高	%		100	100	0		
	評価 ●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず									
達成度の 評価と説明	次年度予定の増設工事実施設計業務。 説明 									
見直し余地	判定 ○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし									
■将来方向性【										
事業の方向性										
資源方向性	予算額 ┃●拡大 ○現状 ○縮小 業務量 ┃●拡大 ○現状 ○縮小									

事務事業調書(		<u> </u>	<b>後評価</b> )							
事務事業名	さくら市斎藤奨学金事業					事業開始年度 平成26年度				
担当課	教育委員会 学校教育課				担当者	大	澤潤一			
■事業の執行計										
	政策	03	文化薫る心豊	豊かな人材の育成						
総合計画体系	施策		03   確かな学力と健やかな心や体を育る			〕学校教育				
	基本引		9 総合事業							
事業の目的	貸付に	貸付により経済的理由で進学を断念する子供を支援することで教育機会の拡大を図る。								
事業の概要	希望者から貸付者を決定する選考会を開催する。 その際の選考委員への報酬を支払う。									
■事業実施結果	【実施	且(Do)】								
	年度 29年			30年度		元年度				
事業費の推移	実	実績/当初予算 実績			実績		当初			
		総事業費	6	6		6		7		
■前年度の事業		【評価(Check								
		指標 指標名称		単位	29年度	30年度	元年度	2年度		
	区分	18,	示 17   17   17   17   17   17   17   17	辛匹	実績	実績	計画	計画		
指標の推移		希望者に対する	貸付率	%	100	100	100	100		
	評価 ●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず									
達成度の 評価と説明	奨学金希望者の選考を行い、貸付を行った。 説明									
計画と記り	5元·91									
見直し余地	判定 ○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし									
■将来方向性【改善(Action)】										
事業の方向性			見状どおり継続	〇廃止・						
<b>資源方向性</b> 予算額 │○拡大 ●現状 ○縮小 常務量 │●拡大 ○現状 ○縮小										

事務事業調書(		<u> </u>	<b>後評価</b> )							
事務事業名	学校評議員制度推進事業   平成26年月					成26年度				
担当課	教育委	員会 学校	教育課		担当者	飯	田俊彦			
■事業の執行計										
	政策	03	文化薫る心豊	豊かな人材	の育成					
総合計画体系	施策	03	確かな学力と	上健やかな	心や体を育む	〉学校教育				
	基本事	業 99	総合事業							
車業の日的	保護者	保護者や地域住民等の意向を把握し学校運営に反映させながら、地域や社会に開かれた学								
事業の目的	校づく	りを一層推進	し、特色ある教育	育活動を展	開できるよう	にすることを	目的とする。			
申業の揺曲			が行う学校運営に					お		
事業の概要		見を述べる。								
■事業実施結果	【実施	(Do)								
		年度	29年度		30年度		元年度			
事業費の推移	実績/当初予算		実績		実績		当初			
	総事業費		219		224		186			
■前年度の事業		評価(Check	) ]							
	指標	「標 上 指標名称 指標名称		単位	29年度	30年度	元年度	2年度		
	区分	扫	际位价	- 単位	実績	実績	計画	計画		
指標の推移		会議の開催回数	7		16	16	12	12		
担保の推修		五 俄 の 用 准 凹 対	(	Щ	10	10	12	12		
	評価 ┃●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず									
達成度の	保護者や地域住民等の意向を把握し学校運営に反映させながら、地域や社会に開かれた学									
評価と説明	説明 校づくりを一層推進し、特色ある教育活動を展開できるようにすることができた。									
見直し余地	判定 ○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし									
■将来方向性【	■将来方向性【改善(Action)】									
事業の方向性	〇見直		見状どおり継続	〇廃止・			•			
資源方向性	予算額 ○拡大 ●現状 ○縮小 業務量 ○拡大 ●現状 ○縮小									